

短期入所協力施設(重点施設)のご紹介 Vol.4 社会福祉法人 翠浩会 障害者支援施設 新光苑

■施設について

当法人の理事長は、脳性麻痺の次女のため、父母会の結成をはじめ、肢体不自由児養護学校の誘致や授産施設の建設運営等、積極的に脳性麻痺者の福祉の向上に取り組んできました。

当施設は、1989年、熊谷地区父母の会12名会員の熱き想いによって設立されたものです。「快適に過ごしてほしい」「充実した時間を過ごしてほしい」、施設を設立するにあたっては、我が子を思う親の視点を何よりも大切にしました。

全国唯一の「脳性麻痺者専門施設」として設立した新光苑は、鉄筋コンクリート平屋建ての耐震耐火構造、全館床暖房、リフター50台設置、幅員3mの廊下と日中の自然採光、広い廊下の壁面を利用しての美術館等、数多くの特徴を備えた施設です。

定員は、生活介護120名、施設入所支援100名、短期入所14名、児童デイサービスひかり5名(重症心身障害児)です。

施設内の新光苑美術館は、洋画、日本画、彫刻、陶芸など300点以上を収蔵しており、地域の皆様との交流の場ともなっています。

■在宅療養について

自動車事故による重度後遺障害を負われた方も、非常に長期にわたる在宅療養を余儀なくされてしまいます。ある日突然重い障害を負って、その後の辛い治療を経た後でも、少しでも快適に過ごしてほしい、と思う親の気持ちは、自動車事故被害者でも脳性麻痺者でも同じです。

訪問診療や訪問看護、訪問リハビリ等の医療サービスを受けてはいても、食事や着替え、入浴などの身の回りの世話、喀痰吸引などの様々な処置を考えると、ご家族のご負担は大きなものがあります。

当施設では、胃ろうや喀痰吸引などの医療ケアが必要な方も、できる限り新光苑での生活が続けられるよう24時間体制で看護師が常駐していますので、どうぞご安心ください。

■短期入所について

これからもずっと在宅療養を続けていくために、障害者ご本人にも、そして介護をなさっているご両親にもレスパイトが必要だと思えます。

当施設は、レスパイトの他にも、急な用事や冠婚葬祭、ご家族の入院など様々な理由によってもご利用いただけます。

定期的に短期入所するという習慣がついてくれば、ご本人もご自宅とは違う環境に慣れていくことができます。これは、将来の介護者なき後にもつながってくる重要な点だと考えています。

スタッフも定期的にお迎えすることで、ご本人の状態やお好みも把握できますし、普段の様子と違うときにも早く気付くことができ、適切な対応を行うことができます。

見ず知らずの施設に大切な家族をあずけるのは不安や心配ばかりが思い浮かぶことでしょう。最初に決断するのはとても勇気がいると思います。どんなご心配、ご要望にも親の目線を大切にしながら、お応えしていきたいと思えます。

■ 介護者なき後への対応

障害者の保護者にとって最も心配なことは、親が高齢になったとき、そして亡くなったあとの障害者の面倒を誰が見るのか、という事です。

その不安を解消し、将来のさまざまな問題を解決することも新光苑の役割であるのとらえ、入所後のご利用者様とご家族が安心して人生を歩めるよう、あらゆる援助体制を整えております。

理事長は、ご利用者様が入所する際には毎回、「養子養女にもらうのと同じだ」とその意味の重さを語っております。

ご利用者様の人生を最後まで見届け、「介護者なきあとの終の棲家」としてしっかり役割を果たせるよう、覚悟と責任感を持って寄り添い続けます。

■ 患者様、ご家族をサポートします

施設では病院と同じような医療行為はできませんが、胃ろう、喀痰吸引に24時間体制で対応しています。日常生活支援としての食事や入浴、排せつなどのお世話の他に、施設ならではの行事にも参加いただけます。

皆様からのご相談、ご連絡をお待ちしています。



新光苑の皆様(左より)

理事 部長／入所課 課長 江村 玲氏
看護課 課長 品田 静枝氏
短期入所課 主任 島田 みゆき氏
業務執行理事 苑長 横川 与志子氏



■ 所在地:

埼玉県熊谷市小島527

■ 主なサービス:

短期入所(定員14名)、施設入所支援(定員100名)、生活介護(定員120名)

■ 受入対象者:

- 対応可能: 喀痰吸引、胃ろう、リハビリ
- 応相談: 気管切開、頸髄損傷、高次脳機能障害(他害行為等を伴う方は対象外)
- 不可: 人工呼吸器、腸ろう

■ 問合せ先

048-532-0665 (短期入所担当)

ご利用者様の声(埼玉県在住Y様)

自動車事故で脊髄損傷になってから14年半が経ちました。急性期病院での治療の後、3年半ほどで在宅療養となりました。片肺が機能しないためか、毎年のように肺炎になって入院していますが、普段は訪問診療や訪問看護、訪問マッサージを受けています。

介護者の負担を軽くしたいとの本人の意向で、毎月3か所の協力施設に2泊3日ずつ、ショートステイしています。

どの施設でも、皆様に良くして頂いていますが、新光苑では特にスタッフの皆さんがハキハキとしておられますね。

ホールの大きな窓からの陽光もぽかぽかと気持ちよく、体温調整ができない障害者も快適に過ごせています。

ショートステイの部屋も新しくきれいで、本人もとても気に入っています。